

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

令和8年10月2日 現在
長野県林務部 森林づくり推進課

●目撃情報と皆さまへのお願い

- ・ 県が9月17日に公表した堅果(どんぐり)類の豊凶調査結果の通り、この1週間も県全体の人の生活圏におけるクマの目撃件数は3件と非常に少ない状況が続いています。
- ・ 実りの秋を迎え、里山の原風景を象徴する柿が実り始めていますが、集落で放任されている柿や栗がクマを誘引する事例があります。実った柿や栗は確実に収穫いただくほか、利用予定のない果樹は伐採処分するなど、クマを誘引しないための取組にご協力ください。
- ・ また、出没したクマに人の生活圏を餌場として学習させないためにも、廃棄野菜や家庭の生ゴミなどの適切な管理と処分について、引き続きご協力をお願いします。
- ・ 9月26日には千曲市で、登山の際にクマによる人身被害が発生しました。持参したクマスプレーを使用したことで、幸いにも大事には至らなかったようで、クマとの遭遇への備えがあったからこそその結果と思われます。入山の際はクマとの遭遇に備えた装備をご準備ください。

●人の生活圏でのツキノワグマの目撃件数の推移(速報値)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月計	人身被害件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	－	－	－	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	－	－	－	1,591	14(14)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	－	－	－	1,575	31(32)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	1	0	2	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	3	3	8	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	5	3	2	1,406	11(12)
R06	20	107	347	273	348	203	67	49	8	4	2	2	1,430	12(13)
R07	25	59	226	200	183	176	219	174	42	9	4	7	1,324	11(16)
R08	30	119	345	203	83	54							834	4(4)

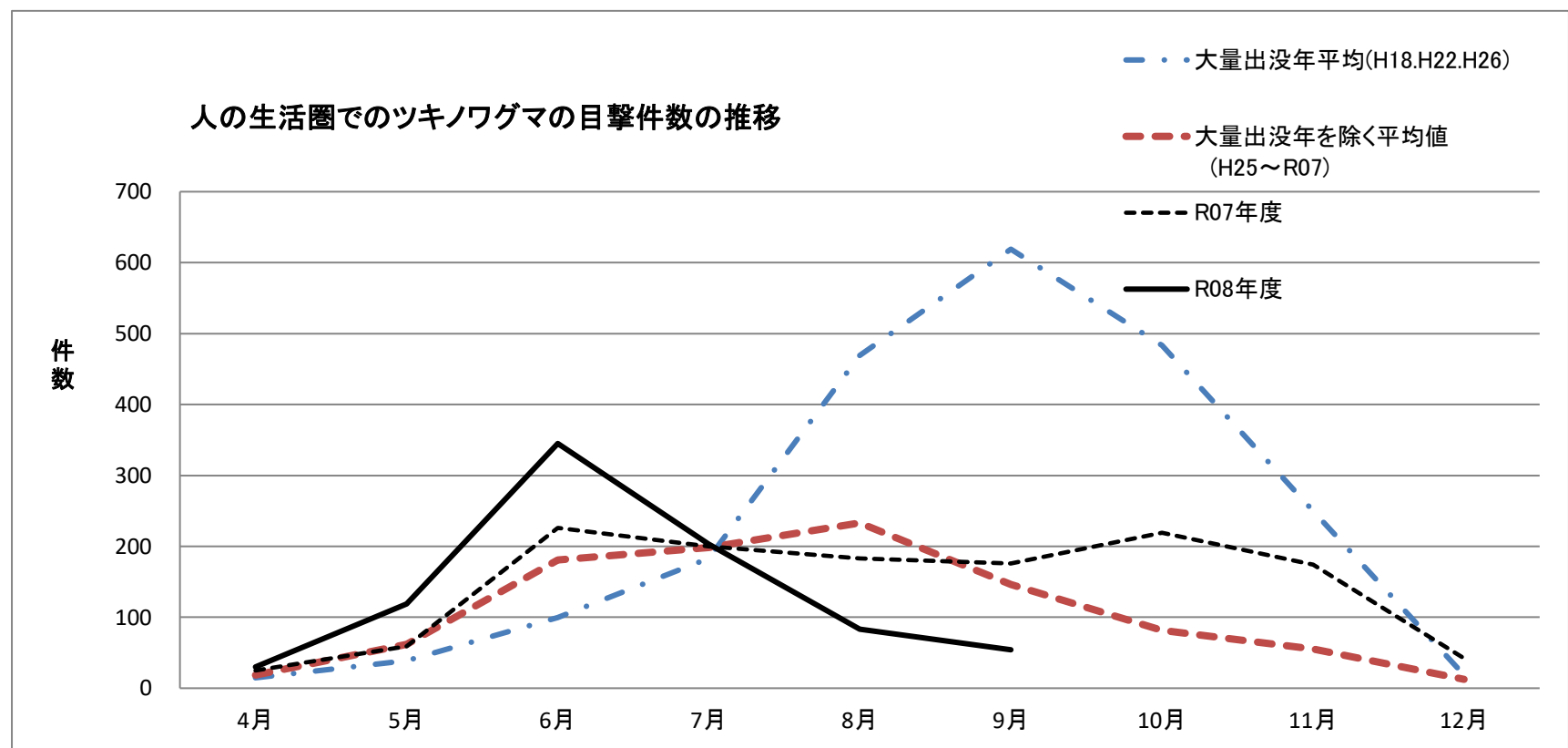
※人身被害は林内での発生も含む。
網掛けのセルは大量出没年。

●地域別目撃件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月計	人身被害件(人)
佐久地域	－	2	1	1	1	4							9	1(1)
上田地域	1	2	9	6	2	－							20	－
諏訪地域	1	3	2	－	－	－							6	－
上伊那地域	1	4	12	6	6	8							37	1(1)
南信州地域	1	5	17	15	3	3							44	－
木曽地域	3	21	99	35	20	11							189	－
松本地域	1	26	53	26	19	13							138	－
北アルプス地域	7	27	107	70	11	2							224	1(1)
長野地域	11	16	28	30	13	4							102	1(1)
北信地域	4	13	17	14	8	9							65	－
計	30	119	345	203	83	54							834	4(4)

〔参考〕大量出沒年、大量出沒年以外の平均目撃件数との比較

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
大量出沒年平均 (H18. H22. H26)	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2, 176	20. 3 (21. 3)
大量出沒年を除く 平均値 (H25～R07)	19	62	181	198	233	146	82	55	13	989	8. 7 (9. 6)
R07年度	25	59	226	200	183	176	219	174	42	1, 304	11 (16)
R08年度	30	119	345	203	83	54				834	4 (4)



- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和7年は6月に226件と急増し、その後も夏から秋にかけて高い水準で推移した。10月には再び増加が見られ、年間を通じて人の日常生活圏での目撃が多い状況が続いた。
- ・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。